



虎塚古墳石室内壁画(勝田市)

県だより No.85 (1973#1)

- ・虎塚古墳発掘、一般公開
- ・中国視察団、研究学園都市へほか

昭和48年度(1973年12月頃)

制作:茨城県 [21:35]

■古代の壁画よみがえる[勝田市]

・7世紀頃の前方後円墳『虎塚古墳』の発掘調査が昭和48年9月12日、明治大学の太塚初重教授ら調査団によって実施され、石室内部の壁画が発見された。

・9月19日に行われた一般公開の様子。

1973/9/19 勝田市(現・ひたちなか市)

■緑ゆたかに[大宮町]

・第24回茨城県植樹祭の様子。大宮中ブラスバンド、岩上県知事他一般参加者による植樹の様子。

1973/4/-- 大宮町(現・常陸大宮市)

■中国視察団が来県[研究学園都市]

・中日友好協会代表団が戦後初の来県。研究学園都市で加速度衝撃試験棟などを視察した。

1973/5/-- 筑波町(現・つくば市)

■あすの農村青年[水戸市]

・水戸市で3日間開催された第13回茨城県農村青少年クラブ大会の一日、レク競技の様子。

1973/11/-- 水戸市

■画聖、中村彝を偲ぶ[水戸市]

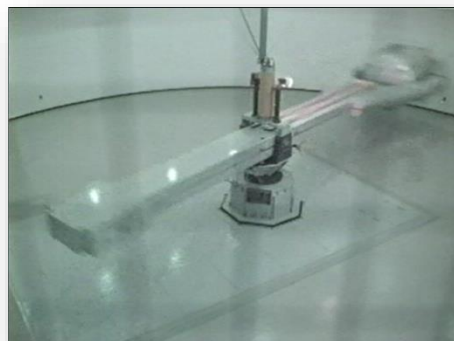
・大正期の画家、中村彝の没後50年となる昭和48年11月、水戸市で関係者による祇園寺での供養等が行われた。

・中村彝展実行委員長、土方定一氏(美術評論家)インタビュー。展覧会の様子。作品映像。

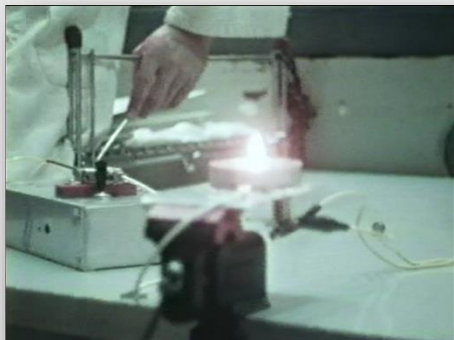
1973/11/-- 水戸市



第24回茨城県植樹祭(大宮町)



遠心加速器(筑波宇宙センター)



茨城国体「科学の火」(東海村)

県だより No.85 (1973 #1)

- ・笠松運動公園陸上競技場完成
- ・障害者支援施設「あすなろ」ほか

昭和48年度(1973年12月頃)

制作:茨城県

■せまる国体[東海・東京・那珂]

・昭和48年3月、東海村の原子力研究所、JRR-4にて、原子力を使って国体の炬火を採火(※)する実験が行われた。

1973/--/-- 東海村

・笠松運動公園の前庭広場に立つ女神像の、彫刻家・木内克による原型制作の様子。

1973/--/-- 東京都

・笠松運動公園陸上競技場がほぼ完成し、幼稚園児らによる集団演技のリハーサルが行われた。

1973/--/-- 那珂町(現・那珂市)

※「科学の火」と称して鹿島神宮の「伝統の火」、筑波山の「自然の火」と共に炬火リレーを行い、「まごころの火」として集火され、開会式場で点火された。

■自立への道を歩む[内原・日立・友部]

・昭和48年12月、内原町に障害者支援施設、茨城県立コロニーあすなろ(現・茨城県立あすなろの郷)が開所した。

1973/12/-- 内原町(現・水戸市)

・県庁で行われた第2回全国障害者技能競技大会茨城県選手団結団式の様子。

・選手団の一人、鈴木さんの昭和活版所(日立市)での職務風景。和文タイプライター打鍵の様子。

1973/--/-- 水戸市、日立市

・パラリンピック茨城大会に向けての友部町リハビリテーションセンターでのバスケットボール練習の様子。

1973/--/-- 友部町(現・笠間市)



彫刻家・木内克による女神像制作



和文タイプライター